

グラングリーン大阪に本社移転

新虎興産 企業間連携でシナジー創出

変電機器などのリサイクル事業を展開する新虎興産（大阪市、木村高士社長、☎06・6467・8525）は4月1日、本社を大型複合ビル「グラングリーン大阪パークタワ―」（同市）に移転、稼働を開始した。西日本最大のターミナル駅であるJR大阪駅直結の最新のオフィスビルを拠点に、さらなる業務拡大や従業員モチベーションの向上、他社連携によるイノベーションの創出などを図る。今般移転したグラン

グリーン大阪は、公民連携で開発が進む都市



グラングリーン大阪外観

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点をコンセプトに整備したもので、新産業の創出、国際交流、人材育成の促進を目指した施設となっている。なかでも、

公園併設の複合施設。

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点をコンセプトに整備したもので、新産業の創出、国際交流、人材育成の促進を目指した施設となっている。なかでも、

新虎興産・新オフィス



イクルだけでなく、太陽光パネルリサイクルの技術開発など、最新の課題にも取り組む中で「より広い範囲への拡大を図るとともに、イノベーションによる協業・技術開発などを期待して、大阪の中心地への移転を決めた」と担当者は話す。

すでに連携している（公財）関西経済連合会の事務局も同施設に入居しており、さらなる連携の加速とともに、他の入居企業とのシナジー効果を生み出す狙いだ。加えて、話題となっている最新施設にオフィスを置くことで、従業員のモチベーションの向上だけでなく、

若い人材へのPRにもつながり、採用面の好影響も期待する。

担当者は「当社の事業範囲が全国規模に拡大しており、さらなるステップアップの下地として移転を決めた。他の入居企業の皆さんに刺激を受けつつ負けないよう、事業を展開していきたい」と抱負を語った。

同社は1918年に創業し、大阪市を拠点として全国に活動範囲を広げてきた。現在はいずれも、大阪駅直結の最新のオフィスビルを拠点に、さらなる業務拡大や従業員モチベーションの向上、他社連携によるイノベーションの創出などを図る。今般移転したグラン

グリーン大阪は、公民連携で開発が進む都市